

委託事業実施内容報告書
平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 松本市

1. 事業名称
基礎的日本語教室実施事業

2. 事業の目的
- ① 生活に最低限必要な最初級の日本語支援を、市が様々な機関と連携しながら実施する体制を構築する。
 - ② 今後の外国人住民に対する日本語支援に必要となる「プログラムコーディネーター」「日本語ボランティア」を育成するとともに、文化庁が養成している「地域日本語教育コーディネーター」を中心に据えた支援体制を構築する。
 - ③ 日本語支援のノウハウを地域の日本語教室に伝えていくと同時に、松本市多文化共生プラザと各地域の日本語教室との連携体制づくりにつなげる。
 - ④ 外国人住民を地域の中で支えていく仕組みづくりを行う。

3. 事業内容の概要
- ① 行政として、生活に必要最低限の日本語支援を行うため、最初級レベルの日本語教室を実施する。1日3時間の講義を12回行う講座を年間3クール実施する。その際、市出前講座を通じて外国人住民に必要な生活上の情報を提供する。
 - ② 将来のプログラムコーディネーター（基礎的日本語教室の運営指導を行う者）の候補者を、日本語支援の補助者として、事前事後及び教室実施のなかで研修を行う。
 - ③ 教室は、地域の日本語教室のボランティアスタッフ等にも見学できるようにするほか、作成した副教材を提供して活動に活かせるようにする。
 - ④ 講座の修了者をそのニーズに応じ、最適な地域の日本語教室につなぐ。

4. 運営委員会の開催について
【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 6月16日 13:30～15:30	2時間	松本市中央公民館	佐藤友則、末次克洋、 赤沼留美子、春原直 美、永田幸彦、征矢ひ ろみ、佐藤佳子	平成26年度文化庁委託 松本市「生活者としての外国人」のための 日本語教育事業についての概要説明、今後に向けての協議	事業内容の検討と意見交換、本事業にお ける運営委員会の役割等について
2	平成27年 2月9日 13:30～15:30	2時間	松本市中央公民館	佐藤友則、末次克洋、 赤沼留美子、春原直 美、永田幸彦、征矢ひ ろみ、佐藤佳子	平成26年度最初級日本語教室の取り組みについての報告、来年度 の文化庁への申請内容の説明、今後の松本市の日本語教育事業 の仕組みの構築について、	来年度の事業内容と今後の松本市の日 本語教育事業の仕組みづくりについて

5. 取組についての報告

- 取組1：基礎的日本語教室の実施
- (1) 体制整備に向けた取組の目標
- ① 初級レベルの日本語習得
 - ② 日本語能力評価の実施
 - ③ 参加者のニーズ把握
 - ④ 地域の日本語教室の紹介
- (2) 取組内容
- ① 受講者の募集・レベルチェック
 - ② 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案を取り入れた教材作成
 - ③ 日本語教室の開催
 - ④ 「生活者としての外国人」に対する日本語教育における日本語能力評価のポートフォリオに
基づいた学習記録を個別に作成
 - ⑤ 修了後の聞き取り、学習記録を使用したふりかえり
 - ⑥ 地域の日本語教室の紹介
 - ⑦ NPO法人ワーカーズ・コープと連携した保育の提供（日本語教室開催時間中）
- (3) 対象者
日本語を母国語としない者で日本語学習の経験を有しない者

(4) 参加者の総数 37 人
出身・国籍別内訳

中国	11人	インドネシア	2人	
韓国	1人	タイ	5人	アメリカ 2人・オーストラリア 2人
ブラジル	3人	ペルー	3人	イギリス 1人・ノルウェー 1人
ベトナム	0人	フィリピン	5人	カナダ 1人
ネパール	0人	日本	0人	

(5) 開催時間数(回数) 108 時間 (全 36 回)

(6) 取組の具体的内容

第1期

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 7月1日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	6人	中国(2人)、 韓国(1人)、 タイ(1人)、 ペルー(1 人)、フィリ ピン(1人)	1.あいさつが できる 2.教室用語が わかる 3.自己紹介が できる	1.あいさつなどの表現 2.教室用語 3.名前・国・仕事・住んでいるところ ～は…です。～も…です。 4.ひらがな あ行～さ行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
2	平成26年 7月4日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	13人	ブラジル(2 人)、ペルー (2人)、フィ リピン(1人)、 中国(3人)、 タイ(2人)、 韓国(1人)、 ノルウェー (1人)、イギ リス(1人)	1.家族のことを 説明できる 2.電話番号や住所 が言える	1.家族の呼称・年齢(1～99までの数字) ～は…じゃありません。誰ですか。 ～の「私の妹です」/～と「夫と私と子どもふたり です」 2.電話番号や番地の言い方 3.ひらがな た行～は行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
3	平成26年 7月8日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	11人	ブラジル(2 人)、ペルー (1人)、フィ リピン(1人)、 中国(2人)、 タイ(2人)、 韓国(1人)、 ノルウェー (1人)、イギ リス(1人)	1.買い物ができる 2.電話番号・住所 が書ける	1.これ・それ・あれ・どれ/この・その・あの・どの 2.何ですか 3.いくらですか 4.ひらがな ま行～ん	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
4	平成26年 7月11日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	9人	ブラジル(2 人)、ペルー (1人)、フィ リピン(1人)、 中国(2人)、 タイ(2人)、 アメリカ(1 人)	1.時刻がわかる・ 言える	1.～時…分 2.何時ですか 3.朝・昼・夜・午前・午後 4.～時から…時までです 5.～をください 6.ひらがな総まとめ1	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
5	平成26年 7月15日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	10人	ブラジル(2 人)、ペルー (2人)、フィ リピン(1人)、 中国(2人)、 タイ(2人)、 アメリカ(1 人)	場所が聞ける	1.ここ・そこ・あそこ 2.～はどこですか。～は〇階です。 売り場の名前、店の名前など 3.ひらがな総まとめ2	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
6	平成26年 7月18日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	10人	ブラジル(2 人)、ペルー (2人)、フィ リピン(1人)、 中国(2人)、 タイ(2人)、 アメリカ(1 人)	1.曜日がわかる・ 言える 2.ごみの日が わかる	1.曜日とその漢字 2.～は…でした/じゃありませんでした 3.天気表現 4.おととい・昨日・あした・あさって 5.カタカナ ア行～サ行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
7	平成26年 7月22日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	9人	ブラジル(2 人)、ペルー (2人)、中国 (2人)、タイ (2人)、アメ リカ(1人)	1.自分のふだんの 生活について 話せる	1.動詞①(起きます・寝ます・働きます・休みます・ 勉強します・洗濯します・掃除します・買い物しま す) 2.～ます・～ません・～ました・～ませんでした 3.カタカナ タ行～ハ行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
8	平成26年 7月25日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	13人	ブラジル(2 人)、ペルー (2人)、フィ リピン(1人)、 中国(3人)、 タイ(2人)、 韓国(1人)、 ノルウェー (1人)、アメ リカ(1人)	1.交通手段や距離 について話せる	1.動詞②(～へ行きます・来ます・帰ります) 2.～(交通手段)で行きます 3.～から…までどのぐらいですか。 4.どこも～ません 5.カタカナ マ行～ン	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸

9	平成26年 7月29日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	11人	ブラジル(2人)、フィリピン(1人)、中国(3人)、タイ(2人)、韓国(1人)、アメリカ(1人)、ペルー(1人)	1.カレンダーの日にちがわかる・言える	1.～月…日 2.～日、週間、か月、年 3.先週・今週・来週/先月・今月・来月/去年・今年・来年 4.～前に 5.カタカナ総まとめ	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
10	平成26年 8月1日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	11人	ブラジル(2人)、フィリピン(1人)、中国(3人)、タイ(2人)、韓国(1人)、アメリカ(1人)、ペルー(1人)	1.好きな食べ物について話せる	1.～を食べます・飲みます(見ます・聞きます・書きます・読みます・買います・します) 2.食べ物・飲み物の名前 3.～が好きです・嫌いです 4.(場所)で食べます 5.街でよく見る漢字	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
11	平成26年 8月5日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	9人	ブラジル(2人)、フィリピン(1人)、中国(2人)、タイ(2人)、アメリカ(1人)、ペルー(1人)	1.感想や気持ちを表すことができる	1.い形容詞(～です・～くないです) (大きい・小さい・思い・軽い・新しい・古い・高い・安い・低い・熱い・暑い・冷たい・寒い・あたたかい・涼しい・おいしい・まずい・いい・悪い) 2.な形容詞(～です・～じゃないです) (元気・きれい・親切・有名・便利・不便・簡単) 3.～はどうですか。 4.語彙1 学習者のニーズに合わせて、スタッフ各自で準備(服装のことは、学校のことばなど)	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
12	平成26年 8月8日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	14人	ブラジル(2人)、ペルー(3人)、フィリピン(1人)、中国(3人)、タイ(2人)、韓国(1人)、アメリカ(1人)、イギリス(1人)	1.病院で病状を伝えることができる	体の部位の名前 病気やけがのことば 診療科の種類	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸

第2期

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 9月16日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	8人	中国(1人)、ブラジル(1人)、タイ(2人)、ペルー(2人)、フィリピン(2人)	1.あいさつができる 2.教室用語がわかる 3.自己紹介ができる	1.あいさつなどの表現 2.教室用語 3.名前・国・仕事・住んでいるところ ～は…です。～も…です。 4.ひらがな あ行～さ行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
2	平成26年 9月19日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	10人	ブラジル(1人)、ペルー(2人)、フィリピン(2人)、中国(2人)、タイ(2人)、インドネシア(1人)	1.家族のことを説明できる 2.電話番号や住所が言える	1.家族の呼称・年齢(1～99までの数字) ～は…じゃありません。誰ですか。 ～の「私の妹です」/～と「夫と私と子どもふたりです」 2.電話番号や番地の言い方 3.ひらがな た行～は行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
3	平成26年 9月26日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	5人	ペルー(1人)、中国(2人)、タイ(1人)、韓国(1人)	1.買い物ができる 2.電話番号・住所が書ける	1.これ・それ・あれ・どれ/この・その・あの・どの 2.何ですか 3.いくらですか 4.ひらがな ま行～ん	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
4	平成26年 9月30日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	6人	ブラジル(1人)、ペルー(1人)、フィリピン(1人)、中国(1人)、韓国(1人)、オーストラリア(1人)	1.時刻がわかる・言える	1.～時…分 2.何時ですか 3.朝・昼・夜・午前・午後 4.～時から…時までです 5.～をください 6.ひらがな総まとめ1	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
5	平成26年 10月3日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	6人	ブラジル(1人)、ペルー(1人)、フィリピン(2人)、オーストラリア(1人)、カナダ(1人)	場所が聞ける	1.ここ・そこ・あそこ 2.～はどこですか。～は〇階です。 売り場の名前、店の名前など 3.ひらがな総まとめ2	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
6	平成26年 10月7日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	10人	ブラジル(1人)、フィリピン(2人)、中国(4人)、タイ(1人)、韓国(1人)、カナダ(1人)	1.曜日がわかる・言える 2.ごみの日がわかる	1.曜日とその漢字 2.～は…でした/じゃありませんでした 3.天気表現 4.おととい・昨日・あした・あさって 5.カタカナ ア行～サ行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
7	平成26年 10月10日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	9人	ブラジル(1人)、フィリピン(2人)、中国(2人)、タイ(1人)、韓国(1人)、オーストラリア(1人)、カナダ(1人)	1.自分のふだんの生活について話せる	1.動詞①(起きます・寝ます・働きます・休みます・勉強します・洗濯します・掃除します・買い物します) 2.～ます・～ません・～ました・～ませんでした 3.カタカナ タ行～ハ行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸

8	平成26年 10月14日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	6人	フィリピン(2人)、中国(1人)、タイ(1人)、韓国(1人)、オーストラリア(1人)	1.交通手段や距離について話せる	1.動詞②(～へ行きます・来ます・帰ります) 2.～(交通手段)で行きます 3.～から…までどのぐらいですか。 4.どこも～ません 5.カタカナ マ行～ン	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
9	平成26年 10月17日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	9人	ブラジル(1人)、フィリピン(2人)、中国(3人)、タイ(1人)、韓国(1人)、カナダ(1人)	1.カレンダーの日にちがわかる・言える	1.～月…日 2.～日、週間、か月、年 3.先週・今週・来週/先月・今月・来月/去年・今年・来年 4.～前に 5.カタカナ総まとめ	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
10	平成26年 10月21日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	11人	ブラジル(1人)、フィリピン(1人)、中国(3人)、タイ(2人)、韓国(1人)、オーストラリア(1人)、カナダ(1人)、アメリカ(1人)	1.好きな食べ物について話せる	1.～を食べます・飲みます(見ます・聞きます・書きます・読みます・買います・します) 2.食べ物・飲み物の名前 3.～が好きです・嫌いです 4.(場所)で食べます 5.街でよく見る漢字	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
11	平成26年 10月24日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	8人	ブラジル(1人)、フィリピン(2人)、タイ(2人)、オーストラリア(1人)、カナダ(1人)、アメリカ(1人)	1.感想や気持ちを表すことができる	1.い形容詞(～です・～くないです) (大きい・小さい・思い・軽い・新しい・古い・高い・安い・低い・熱い・暑い・冷たい・寒い・あたたかい・涼しい・おいしい・まずい・いい・悪い) 2.な形容詞(～です・～じゃないです) (元気・きれい・親切・有名・便利・不便・簡単) 3.～はどうですか。 4.語彙1 学習者のニーズに合わせて、スタッフ各自で準備(服装のことば、学校のことばなど)	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
12	平成26年 10月28日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	10人	ブラジル(1人)、フィリピン(2人)、中国(2人)、タイ(2人)、韓国(1人)、オーストラリア(1人)、カナダ(1人)	1.病院で病状を伝えることができる	1.体の部位の名前 病気やけがのことば 診療科の種類	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸

第3期

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 12月2日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	7人	中国(2人) オーストラリア(1人)、 フィリピン(1人)、タイ(1人)、カナダ(1人)、インドネシア(1人)	1.あいさつができる 2.教室用語がわかる 3.自己紹介ができる	1.あいさつなどの表現 2.教室用語 3.名前・国・仕事・住んでいるところ ～は…です。～も…です。 4.ひらがな あ行～さ行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
2	平成26年 12月5日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	6人	中国(2人) オーストラリア(1人)、タイ(1人)、インドネシア(1人)、イギリス(1人)	1.家族のことを説明できる 2.電話番号や住所が言える	1.家族の呼称・年齢(1～99までの数字) ～は…じゃありません。誰ですか。 ～の「私の妹です」/～と「夫と私と子どもふたりです」 2.電話番号や番地の言い方 3.ひらがな た行～は行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
3	平成26年 12月9日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	8人	中国(2人) オーストラリア(1人)、タイ(1人)、インドネシア(1人)、カナダ(1人)、アメリカ(1人)、韓国(1人)	1.買い物ができる 2.電話番号・住所が書ける	1.これ・それ・あれ・どれ/この・その・あの・どの 2.何ですか 3.いくらですか 4.ひらがな ま行～ん	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
4	平成26年 12月12日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	10人	中国(4人) オーストラリア(1人)、インドネシア(1人)、カナダ(1人)、アメリカ(1人)、韓国(1人)、イギリス(1人)	1.時刻がわかる・言える	1.～時…分 2.何時ですか 3.朝・昼・夜・午前・午後 4.～時から…時までです 5.～をください 6.ひらがな総まとめ1	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
5	平成26年 12月16日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	8人	中国(3人) オーストラリア(1人)、インドネシア(1人)、カナダ(1人)、ブラジル(1人)、韓国(1人)	場所が聞ける	1.ここ・そこ・あそこ 2.～はどこですか。～は〇階です。 売り場の名前、店の名前など 3.ひらがな総まとめ2	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸

6	平成26年 12月19日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	9人	中国(3人)、 オーストラ リア(1人)、 インドネシア (1人)、カナ ダ(1人)、ブラ ジル(1人)、 韓国(1人)、 イギリス(1人)	1.曜日がわかる・ 言える 2.ごみの日が わかる	1.曜日とその漢字 2.～は…でした/じやありませんでした 3.天気表現 4.おととい・昨日・あした・あさって 5.カタカナ ア行～サ行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
7	平成26年 12月26日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	6人	中国(2人)、 オーストラ リア(2人)、 インドネシア (1人)、カナ ダ(1人)	1.自分のふだんの 生活について 話せる	1.動詞①(起きます・寝ます・働きます・休みます・ 勉強します・洗濯します・掃除します・買い物しま す) 2.～ます・～ません・～ました・～ませんでした 3.カタカナ タ行～ハ行	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
8	平成27年 1月9日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	7人	中国(2人)、 オーストラ リア(1人)、 インドネシア (1人)、カナ ダ(1人)、ブラ ジル(1人)、 イギリス(1人)	1.交通手段や距離 について話せる	1.動詞②(～へ行きます・来ます・帰ります) 2.～(交通手段)で行きます 3.～から…までどのぐらいですか。 4.どこも～ません 5.カタカナ マ行～ン	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
9	平成27年 1月13日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	5人	中国(2人)、 オーストラ リア(1人)、 インドネシア (1人)、ブラ ジル(1人)	1.カレンダーの 日にちがわかる・ 言える	1.～月…日 2.～日、週間、か月、年 3.先週・今週・来週/先月・今月・来月/去年・今 年・来年 4.～前に 5.カタカナ総まとめ	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
10	平成27年 1月16日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	6人	中国(1人)、 オーストラ リア(1人)、 インドネシア (1人)、カナ ダ(1人)、ブラ ジル(1人)、 イギリス(1人)	1.好きな食べ物に ついて話せる	1.～を食べます・飲みます(見ます・聞きます・書 きます・読みます・買います・します) 2.食べ物・飲み物の名前 3.～が好きです・嫌いです 4.(場所)で食べます 5.街でよく見る漢字	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
11	平成27年 1月20日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	7人	中国(3人)、 オーストラ リア(1人)、 インドネシア (1人)、カナ ダ(1人)、ブラ ジル(1人)	1.感想や気持ちを 表すことができる	1.い形容詞(～です・～くないです) (大きい・小さい・思い・軽い・新しい・古い・高い・ 安い・低い・熱い・暑い・冷たい・寒い・あたたか い・涼しい・おいしい・まずい・いい・悪い) 2.な形容詞(～です・～じゃないです) (元気・きれい・親切・有名・便利・不便・簡単) 3.～はどうですか。 4.語彙1 学習者のニーズに合わせて、スタッフ 各自で準備(服装のことば、学校のことばなど)	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸
12	平成27年 1月23日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	6人	中国(3人)、 カナダ(1人)、 ブラジル(1人)、 イギリス(1人)	1.病院で病状を 伝えることが できる	体の部位の名前 病気やけがのことば 診療科 の種類	佐藤 佳子	大石 美香 鶴賀 幸

【募集方法】
 広報まつもとへの掲載、松本市多文化共生プラザFaceBookへの掲載・MLでの案内、チラシの作成・配布、市
 民課転入時の案内、市内の各日本語教室を通じての募集、市内の外国食材店でのチラシ掲示等

(8) 特徴的な活動風景

【ボランティアスタッフ登録説明会】（教室開始2週間前に実施）
 ボランティアスタッフ募集にあたり、教室の目的や方針について詳しく説明する説明会を開催。
 応募者からも質問を受け付け、事業の趣旨を十分に理解したうえで、登録してもらう。
 ⇒教室の円滑な運営につなげる。



【授業の流れ】

1. ウォーミングアップ:【5～10分】

受講者が教室に来たら、プログラムコーディネーターがボランティアスタッフとのマッチングを行い、それぞれ横に付いて着席。
ボランティアスタッフは、学習者の個人ファイルをもとに前回までの学習項目と申し送り事項を確認し、復習もかねた会話を行う。

2. 全体授業(導入・基本練習):【3. の応用練習と合わせて90分】

システムコーディネーターが受講者全員に向けて、その日の学習項目の導入を行う。
クラス形式で授業を進めるが、受講者にはそれぞれボランティアスタッフがマンツーマンで隣に座り、サポートをする(発音・発話の確認、理解度の確認など)。
口頭練習を中心とした基本練習は、クラス全体で行うほか、受講者とボランティアスタッフの対話形式でも行う。

⇒日本人との対話経験を増やす。ボランティアスタッフは日本語教育の経験がない者がほとんどであるため、語彙コントロールが十分ではない場面も見られるが、教室外に出たときの地域での会話場面を考えると、それも自然であるといえる。

困難な場合には、システムコーディネーター・プログラムコーディネーターがサポートに入る。
ボランティアスタッフには、「やさしい日本語とは何か」ということを、座学だけでなく経験でも学び、身につけてもらう。

3. 全体授業(応用練習)

システムコーディネーターの指示に従い、外国人受講者同士もしくは外国人受講者と日本人ボランティアスタッフがペアもしくはグループを組んで、その日の学習項目を使ったタスクを行い、定着を図る。

プログラムコーディネーターも巡回し、サポートを行う。

4. レクリエーション・タイム(15分)

ボランティアスタッフの中から2名ずつ当番を決め、ゲーム等の活動を考え実施する。基本的にはその日かそれ以前に学習した項目が使えるような内容のもの。

この活動によって、受講者やボランティアの間で、1対1ではないダイナミズムと交流が生まれ、あまり話す機会がなかった受講者やボランティアとも会話をすることができる。

また、ボランティアスタッフも教室運営に自らのアイデアを活かして直接かかわることで、主体性を持って活動することができる。

システムコーディネーター・プログラムコーディネーターもこの活動にともに加わる。

5. 個別授業(前半授業の復習もしくは学習者にあった個別の会話練習等): (45分)

最初級の日本語教室ではあるが、受講者の背景(国籍、滞日年数、家族構成、学習目的)はさまざまであるため、ペアもしくはグループでレベルに合った学習を行い、受講者のニーズに応え、教室に対する満足度を上げる。

システムコーディネーター・プログラムコーディネーターは準備段階からアドバイスし、当日も巡回して指導をサポートする。

【託児について】

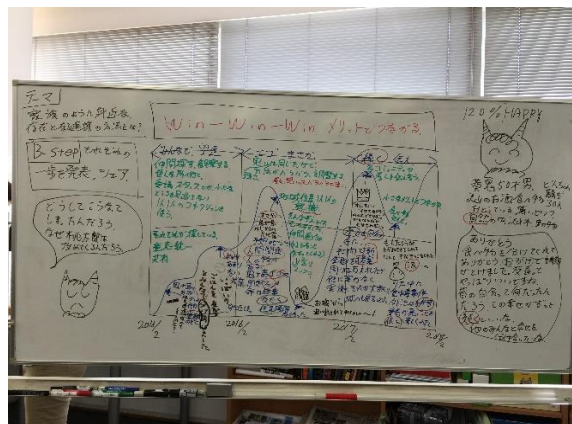
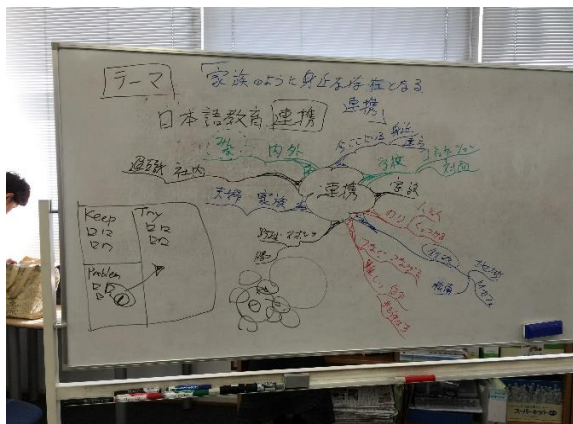
本事業では、保育者の役割も非常に重要であった。市内の公民館で開催されている他の日本語教室には託児がないため、子どもを連れた母親が日本語教室に通うためには、欠かすことができない。



【会議等の運営方法について】

今回、本事業の会議やミーティングの運営方法には一部、外部からのファシリテーターを招き、会議の進行を任せた。

システムコーディネーターやプログラムコーディネーターが司会をする場合、どうしても意見の方向性がある程度ははじめから定まってしまう、まったく新しいアイデアは出にくい。また、ボランティアという立場からは発言しづらい場合もある。そのため、今回はコーディネーターも同じメンバーの一員として会議やミーティングに参加し、より自由な発想から議論を活発に行うことができた。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

【検証方法】

受講者アンケート、学習ポートフォリオ

【目標の達成状況・成果】

これまで日本語の学習機会がなかった、滞日期間2か月～20年のさまざまな背景を持つ受講者が参加した。ほぼマンツーマンのサポート体制であったため、全体授業ではひとつのテーマや学習内容に統一しつつも個々のレベルやニーズに配慮して授業を進めることができた。クラス形式でありながら、練習の場面では常に隣の日本人と個別に会話ができるので、十分な発話量が確保できた。

(受講者アンケートから)

- ・講師やスタッフがひとりひとりに気を配ってくれ、とてもわかりやすかった。
- ・日本語と日本の生活が理解できた。
- ・日本人との交流ができた。
- ・授業は専門家によって行われているので、大切なポイントが抑えられている。
- ・ロールプレイなどのタスクがとても役に立った。
- ・外国人受講者同士で交流ができた。
- ・地域の日本語教室で、これからも続けて勉強したい。
- ・子どもを預けて勉強できる教室が他にないので、託児があつてとてもよかった。
- ・日本語が上達した。

(10) 改善点について

- ・冬場は特に受講者が減る傾向にあるので、事業の周知と受講者の募集方法を検討する必要がある。
- ・1回3時間は少し長い。1回2時間でいいので、もっと回数が多いほうがいいという意見があつた。
⇒合計の授業時間数は同じで、1回の授業時間を短くして、教室の開催日を増やすことも今後検討。
一方で、会場の確保が可能かどうかという点と、「初期集中」であることのメリットが薄れることも考えられる。
- ・宿題を出してほしいという受講者も多かった。今後、初級でも一人でできるタスクを考えたい。
- ・受講者1名に対して、日本人のボランティアスタッフがほぼ1名サポートにつくという体制だったため、当初は逆に受講者間(外国人同士)の交流が生まれにくかった。しかし、第3期から「レクリエーションタイム」の時間を設けたことで、日本人外国人問わず、教室内の交流が十分に行われるようになった。
こういった活動を今後も取り入れていきたい。

○取組2: OJT (On the Job Training)等による日本語ボランティアの養成

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ① 日本語ボランティアのスキル向上(日本語を客観的に分析する、学習者の立場に立つこと等)
- ② ボランティアの疑問や不安の解消
- ③ 地域の人的・社会的資源を知り、日本語教室とのコーディネート業務の基礎を知る。

- (2) 取組内容
- ① 日本語教育のスキルアップのための事前研修
 - ② OJTの考え方・取り組み方に関する研修
 - ③ 基礎的日本語教室の中でのOJT
 - ④ 講座修了後のふりかえり研修

- (3) 対象者
- 「取組1」の補助者及び、市内の既存日本語教室で活動している日本語ボランティア、また今後日本語ボランティアとして活動したい市民

- (4) 参加者の総数 34 人
- 出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	34人	

- (5) 開催時間数(回数) 84 時間 (全 50 回)

- (6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 6月24日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	17人	日本	日本語指導法	松本市の外国人住民の現状と日本語ボランティアとして知っておくべきこと(コーディネーター候補者対象)	佐藤 佳子	
2	平成26年 6月25日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	15人	日本	日本語指導法	松本市の外国人住民の現状と日本語ボランティアとして知っておくべきこと(ボランティア登録者対象)	佐藤 佳子	
3	平成26年 7月1日 13:30～16:30	3時間	松本市中央公民館	16人	日本	日本語指導法	松本市の日本語教育の現状と課題について	佐藤 佳子	
4	平成26年 7月4日 13:30～16:30	3時間	松本市中央公民館	14人	日本	日本語指導法	日本語ボランティアとは～地域日本語教室の必要性	佐藤 佳子	
5	平成26年 7月8日 13:30～16:30	3時間	松本市中央公民館	13人	日本	日本語指導法	日本語を教えるということ(ワークショップ)	佐藤 佳子	
6	平成26年 7月11日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	15人	日本	日本語指導法	やさしい日本語について	佐藤 佳子	
7	平成26年 7月15日 13:00～16:00	3時間	松本市中央公民館	14人	日本	日本語指導法	学習ポートフォリオと指導力評価シートの使い方と意味	佐藤 佳子	
8	平成26年 7月18日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	13人	日本	日本語指導法	～は(名詞)です／じゃありません。 ～も(名詞)です	佐藤 佳子	
9	平成26年 7月22日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	12人	日本	日本語指導法	家族の呼称(ウチ・ソト) 数字を教える際のポイント	佐藤 佳子	
10	平成26年 7月25日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	13人	日本	日本語指導法	これ・それ・あれ・どれ	佐藤 佳子	
11	平成26年 7月29日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	12人	日本	日本語指導法	いくらですか／値段の言い方	佐藤 佳子	
12	平成26年 8月1日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	15人	日本	日本語指導法	「買い物」をトピックにする際のアイデア	佐藤 佳子	
13	平成26年 8月5日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	13人	日本	日本語指導法	時間の言い方	佐藤 佳子	
14	平成26年 8月8日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	14人	日本	日本語指導法	～から・・・まで	佐藤 佳子	
15	平成26年 9月5日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	11人	日本	日本語指導法	ここ・そこ・あそこ・どこ	佐藤 佳子	

16	平成26年 9月16日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	13人	日本	日本語指導法	曜日とおととい・昨日・今日・あした・あさって	佐藤 佳子	
17	平成26年 9月19日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	14人	日本	日本語指導法	～は(名詞)でした／じゃありませんでした 天気表現	佐藤 佳子	
18	平成26年 9月26日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	12人	日本	日本語指導法	(動詞)ます・ません・ました・ませんでした	佐藤 佳子	
19	平成26年 9月30日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	13人	日本	日本語指導法	～へ行きます・来ます・帰ります	佐藤 佳子	
20	平成26年 10月3日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	12人	日本	日本語指導法	(動詞)ます・ません・ました・ませんでした	佐藤 佳子	
21	平成26年 10月6日 13:00～16:00	3時間	松本市中央公民館	11人	日本	日本語指導法	四技能の指導法について	佐藤 佳子	
22	平成26年 10月7日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	12人	日本	日本語指導法	～月・・・日(日付の言い方)	佐藤 佳子	
23	平成26年 10月10日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	10人	日本	日本語指導法	期間の表し方(～日・週間・か月・年)	佐藤 佳子	
24	平成26年 10月14日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	9人	日本	日本語指導法	時の表し方 先週・今週・来週／先月・今月・来月など	佐藤 佳子	
25	平成26年 10月17日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	14人	日本	日本語指導法	～を食べます・飲みます	佐藤 佳子	
26	平成26年 10月21日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	11人	日本	日本語指導法	～が好きです・きらいです	佐藤 佳子	
27	平成26年 10月24日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	10人	日本	日本語指導法	い形容詞・な形容詞①	佐藤 佳子	
28	平成26年 10月27日 13:00～16:00	3時間	松本市中央公民館	13人	日本	日本語指導法	日本語音声学の基礎知識	佐藤 佳子	
29	平成26年 10月28日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	12人	日本	日本語指導法	い形容詞・な形容詞②	佐藤 佳子	
30	平成26年 11月7日 10:00～13:00	3時間	松本市中央公民館	9人	日本	日本語指導法	日本語の動詞について	佐藤 佳子	
31	平成26年 11月17日 10:00～13:00	3時間	松本市中央公民館	10人	日本	日本語指導法	日本語の助詞について	佐藤 佳子	
32	平成26年 12月2日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	11人	日本	日本語指導法	授受表現①	佐藤 佳子	
33	平成26年 12月5日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	9人	日本	日本語指導法	授受表現②	佐藤 佳子	
34	平成26年 12月9日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	10人	日本	日本語指導法	表記の指導法について①	佐藤 佳子	
35	平成26年 12月12日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	12人	日本	日本語指導法	表記の指導法について②	佐藤 佳子	
36	平成26年 12月16日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	13人	日本	日本語指導法	表記の指導法について③	佐藤 佳子	
37	平成26年 12月19日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	12人	日本	日本語指導法	直接法と間接法による指導の違い	佐藤 佳子	
38	平成26年 12月26日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	11人	日本	日本語指導法	～に・・・がいます／あります	佐藤 佳子	
39	平成27年 1月6日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	8人	日本	日本語指導法	生活者としての外国人」への日本語指導の考 え方とポイント(5点セットを知ろう)	佐藤 佳子	
40	平成27年 1月9日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	9人	日本	日本語指導法	比較表現	佐藤 佳子	

41	平成27年 1月13日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	11人	日本	日本語指導法	普通形と普通体	佐藤 佳子	
42	平成27年 1月16日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	13人	日本	日本語指導法	条件表現①	佐藤 佳子	
43	平成27年 1月20日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	12人	日本	日本語指導法	条件表現②	佐藤 佳子	
44	平成27年 1月23日 12:30～13:30	1時間	松本市中央公民館	10人	日本	日本語指導法	推量表現	佐藤 佳子	
45	平成27年 1月26日 12:30～13:30	3時間	松本市中央公民館	11人	日本	日本語指導法	地域の日本語教室で活動するために～初級後半の指導とは	佐藤 佳子	
46	平成27年 2月2日 13:00～16:00	3時間	松本市中央公民館	5人	日本	OJT	OJTについて①	赤沼 留美子	
47	平成27年 2月13日 10:00～12:00	2時間	松本市中央公民館	8人	日本	OJT	OJTについて②	赤沼 留美子	
48	平成27年 2月14日 13:00～15:00	2時間	松本市中央公民館	6人	日本	OJT	OJTについて③	赤沼 留美子	
49	平成27年 2月16日 14:00～17:00	3時間	松本市中央公民館	12人	日本	OJT	OJTについて④	赤沼 留美子	
50	平成27年 3月13日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	7人	日本	振り返り研修	地域の日本語教室で活動するために～中上級の指導とは	佐藤 佳子	

(7) 参加者の募集方法

【募集方法】

広報まつもとへの掲載、松本市多文化共生プラザFaceBookへの掲載・MLでの案内、チラシの作成・配布、市内の各日本語教室を通じての募集等

(8) 特徴的な活動風景

【研修の方法】

取組2のボランティア養成の特徴は、OJT(On the Job Training)の手法を取り入れたことにある。かつて松本市では平成22年度・23年度の文化庁委託事業で、ボランティア養成講座を開催したことがあるが、修了者が実際のボランティア活動に参加したケースが少なかった。座学でのボランティア養成講座では、活動そのものの楽しさが伝わりにくく、日本語教育の基礎知識を得るカルチャースクール的なものになってしまった。

そのため、今回の事業では、取組1を研修のための現場ととらえ、事前の研修・事後の研修、またOJTの専門家からの講義も受けながらボランティアの養成をおこなった。

行った研修は、以下の3つに分けられる。

1. 取組1の教室開催日の授業終了後に行う研修(1回1時間)
＝最初級で扱う内容にしぼり、取組1の日本語教室で直接活かせる内容の研修
2. 日本語教育やボランティアに関するより広い内容の研修(1回3時間)
＝本事業のスタッフには、修了後は市内の日本語教室で活動することを期待している。そのため、最初級レベルの知識だけではその後の活動につながりにくい。また、在住外国人への理解やボランティア活動そのものに対する必要である。
3. 取組1の日本語教室における研修
＝教室実施そのものを研修の場と位置づけ、システムコーディネーターが行う全体授業を模擬授業として見ることで、日本語を教えることへのイメージをつかみ、プログラムコーディネーターが授業の様子を巡視しながらアドバイスを行っていく。
3. OJTの専門家による研修
＝(有)スマイル・ラボの赤沼留美子氏を講師に迎え、OJTの基礎知識と、トレーニングを行う側、受ける側双方への研修を行った。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

取組1の日本語教室にボランティアスタッフとして参加し、取組2の研修を受けた日本人のうち、市内の既存の日本語教室で新たに活動をし始めた者が6名。また既存の日本語教室から取組2の研修に参加し、引き続き市内の日本語教室で活動している者が3名。

本事業への参加によって、ボランティアスタッフは日本語教育の基礎知識を得ただけではなく、外国人住民への理解も深まり、地域に帰ってからも引き続き同じ地域住民として外国人を受け入れる素地が生まれた。

また、今回育成したプログラムコーディネーター2名を来年度以降の教室運営に生かしていく。

(アンケート結果より)

- ・日本語教育の研修を受ける機会がないので、とてもよい機会だった。(市内の既存のボランティア教室からの参加者)
- ・はじめは手探りで外国人受講者と接していたが、コーディネーターがアドバイスを与えてくれて、安心して活動できた。
- ・日本人だから日本語を教えられると思って始めた活動だが、日本語の通じない外国人にどうやって日本語を教えればいいのか、まったくわからなかった。システムコーディネーターの行う授業の様子を見ながら、入念な準備がされているのにとても自然であることに驚いた。
- ・この活動に参加して、日本語教育にとっても興味を持った。420時間の日本語教師養成講座に申し込んだ。
- ・同じ学校に外国人のお母さんがいたのを見て、自然に声かけをすることができた。この講座で、外国人に対する基礎知識を得ていたことが大きかった。
- ・この活動が終わっても、引き続き、他の日本語教室で活動したい。
- ・外国人を特別視してことさら「支援」と構えるのではなく、「心のご近所さん」として受け入れていきたい。

(10) 改善点について

- ・本事業の日本語教室ではカリキュラムや教材が準備されており、システムコーディネーター・プログラムコーディネーターによるサポートがあるが、他の日本語教室では教材の選定からすべてボランティアスタッフに任せられていることが多い。そのため、修了後他の教室で活動を始めた時にギャップが大きいという声が聞かれた。スムーズな活動の移行のために、今後は、授業の中で、ボランティアスタッフに教材の選定・準備もサポートしながら行ってもらう必要がある。

○取組3:日本語支援における松本市出前講座の活用

(1) 体制整備に向けた取組の目標

参加者には、生活で必要な場面での必要な日本語や知識を身につけてもらう。
また市職員には外国人住民の現状や課題、やさしい日本語への対応などの理解を深める。

(2) 取組内容

日本語支援に係る関係機関との連携体制を構築する一環として、日本語教室に生活と密着した分野の市出前講座を活用する。市職員と事前に打ち合わせをすることで、外国人住民の現状や、やさしい日本語での講義などへの理解を深める。

(3) 対象者

基礎的日本語教室参加者をはじめ、参加希望の者

(4) 参加者の総数 50 人

出身・国籍別内訳

中国	6人	インドネシア	1人	アメリカ 5人、イギリス 1人、 オーストラリア 2人
韓国	1人	タイ	5人	
ブラジル	3人	ペルー	2人	
ベトナム	0人	フィリピン	2人	
ネパール	0人	日本	22人	

(5) 開催時間数(回数) 18 時間 (全 6 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年8月19日 9:30~12:30	3時間	松本市中央公民館	17人	ブラジル(1人)、フィリピン(1人)、中国(2人)、タイ(2人)、アメリカ(1人)、日本人(10人)	防災	災害に備える	危機管理課 宮崎 裕太	

2	平成26年8月22日 9:30～12:30	3時間	クリーンセンター	25人	ブラジル(2人)、ペルー(2人)、フィリピン(1人)、中国(3人)、タイ(2人)、韓国(1人)、ノルウェー(1人)、アメリカ(1人)、日本人(12人)	ゴミの分別	ゴミの減量と分別・クリーンセンターの見学	環境業務課 山田 秀明	
3	平成26年10月31日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	25人	ブラジル(1人)、フィリピン(2人)、中国(4人)、タイ(1人)、韓国(1人)、カナダ(1人)、日本人(15人)	和食と栄養バランス	きのこの炊き込みご飯と具だくさん味噌汁	健康づくり課 佐藤 由夏	
4	平成26年11月4日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	15人	ブラジル(1人)、中国(2人)、タイ(1人)、オーストラリア(1人)、カナダ(1人)、日本人(9人)	応急処置	応急処置の方法	丸の内消防署 小島 高明	
5	平成27年1月27日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	25人	中国(4人)、オーストラリア(1人)、インドネシア(1人)、カナダ(1人)、ブラジル(1人)、イギリス(1人)、アメリカ人(4人)、日本人(1人)	行事食	恵方巻とけんちん汁	健康づくり課 佐藤 由夏	
6	平成27年1月30日 9:30～12:30	3時間	松本市中央公民館	23人	中国(3人)、オーストラリア(1人)、インドネシア(1人)、カナダ(1人)、ブラジル(1人)、アメリカ人(4人)、日本人(12人)	運動	ストレッチとウォーキングの基礎	スポーツ推進課 上條 遥香	

(7) 参加者の募集方法

【募集方法】

松本市多文化共生プラザFaceBookへの掲載・MLでの案内、チラシの作成・配布、市内の各日本語教室を通じての募集、市内の外国食材店でのチラシ掲示等

(8) 特徴的な活動風景

1. 事前に担当課に事業説明を行い、連携の確認
2. 出前講座に向けての打ち合わせ
 - ・講座の内容
 - ・「やさしい日本語」の使用について

3. 【当日】

システムコーディネーター、プログラムコーディネーター、ボランティアスタッフが外国人受講者をサポートしながら、ともに出前講座を受講する。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

外国人受講者が、生活上必要な情報を得ることができた。また、市の職員にとっても、外国人住民の状況を知るきっかけとなり、窓口で対応する際にすべて通訳をつけるのではなく「やさしい日本語」の使用が有効であることが理解された。

同時に、日本人スタッフも市の出前講座を受講することで、これまで知らなかった情報を多く得ることができ、外国人受講者とともに、よい学びの機会となった。

(アンケート結果より)

- ・ふだん運動をする機会がないので、教室のみんなとたくさんスポーツができてとても楽しかった。翌日は筋肉痛になるぐらい、しっかり体を動かした。
- ・これまで、日本の「だし」をとったことがなかった。とてもおいしくて体にもいいので、家でも作りたい。
- ・子どもがいるので、応急処置の勉強はとても役に立った。
- ・防災グッズがとても便利だと思った。購入して家でも備えたい。
- ・恵方巻は子どものお弁当にも入れたい。家族に作って喜ばせたい。
- ・ゴミの分別で今までわからなかったことがわかった。(市外から転入して間もない日本人参加者)

(10) 改善点について

今回、講座の選定を市の視点から行ったが、内容に参加者数にばらつきがあった。次回は各国語の翻訳で、受講者からのニーズを聞き取り、出前講座の内容選定に活かしていきたい。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

- ① 生活に最低限必要な最初級の日本語支援を、市が様々な機関と連携しながら実施する体制を構築する。

⇒市役所庁内の関係部署や既存の市内のボランティア日本語教室、NPO法人等と連携して事業を実施し、今後の体制づくりにつなげることができた。

- ② 今後の外国人住民に対する日本語支援に必要となる「プログラムコーディネーター」「日本語ボランティア」を育成するとともに、文化庁が養成している「地域日本語教育コーディネーター」を中心に据えた支援体制を構築する。

⇒文化庁の地域日本語教育コーディネーターをシステムコーディネーターとして採用し、今年度事業ではプログラムコーディネーターとボランティアスタッフを育成し、地域の日本語教育に資するとともに、来年度2教室に事業を拡大して実施するための体制を作ることができた。

- ③ 日本語支援のノウハウを地域の日本語教室に伝えていくと同時に、松本市多文化共生プラザと各地域の日本語教室との連携体制づくりにつなげる。
⇒市内に既存の約10教室から受講者(外国人受講者・日本人ボランティアとも)が紹介されて本事業で学んだあと、各教室に戻って活動を継続している。また、一般の募集により本事業を修了した学習者・ボランティアスタッフのニーズを聞き取り、各日本語教室につなぐことができた。多文化共生プラザでは受講者の募集や、生活相談の受付等での連携をとっている。

- ④ 外国人住民を地域の中で支えていく仕組みづくりを行う。
⇒上記のように、市内の各地域にある日本語教室との連携体制を作っていくことで、外国人住民を地域で支える仕組みづくりへとつなげていくことを目指しているところである。
また、これまで外国人住民とほとんど接したことのなかった日本人が、本事業のボランティア活動を通じて外国人住民への理解を深めたことにより、地域で生活する日本人住民側の受け入れが一步步進むことを期待している。

(2) 事業目的の達成状況

おおむね上記の通り。

また、連携が得られた関係先については以下の通り。

【出前講座】松本市 危機管理課・健康づくり課・スポーツ推進課・環境業務課
丸の内消防署

【募集・広報】松本市 市民課・広報国際課 多文化共生プラザ
生涯学習課 市内の各日本語教室(10か所)
各国食材店(PIM SHOP、ABCブラジルマート、福順・華龍)
NPO法人中信多文化共生ネットワーク
NPO法人ワーカーズコープ

【託児】NPO法人ワーカーズコープ

【学習者の紹介・ボランティアスタッフの研修受講など】

市内の各日本語教室(10か所)

(3) 地域における事業の効果、成果

松本市として最低限の日本語教育を保証するという視点からの取り組みで、広報まつもと等により学習者の募集を行った結果、転入して間もない外国人から滞日20年になる外国人まで、これまで日本語学習の機会のなかった住民を掘り起こすことができた。

同時に有償でのコーディネーター募集、無償でのボランティアスタッフ募集も広く行った結果、人材の掘り起こしも行うことができた。

以下はそれぞれの取り組みにおける効果・成果である。

【取組1】

これまで日本語を学ぶ機会のなかった外国人住民が生活に必要な最低限の日本語を身に着けることができた。また、ボランティアスタッフ＝日本人住民との交流・外国人住民同士の交流が生まれた。

現在も各期のスタッフ・受講者はLINEでつながり、日本語による発信や情報交換を続けている。

受講者で引き続き地域の日本語教室での学習を希望する者には、ニーズや条件に合った教室を紹介し、各地域での学習を続けている。

今回、託児を設けたことで、日本語教室にこれまで通うことのできなかった母親が外に出て日本語を学び、地域と繋がる機会ができた。

また、作成したカリキュラムと教材は、今後の松本市における日本語教育の現場で活用していく。

【取組2】

OJTの手法を取り入れた研修を行ったことで、ボランティアスタッフは実際の現場でのやりがいを実感しながら並行して理論・知識を習得していくことができた。また、外国人住民への理解を深めることで、それぞれが住む地域にあって外国人をサポートしたいという意識が生まれた。

【取組3】

市として外国人住民に伝えたい、知っておいてほしい情報を伝えることができた。また、外国人住民の側も生活上必要な情報を得ることができた。

同時に、市役所職員も外国人住民の現状を直接に知ることができ、「やさしい日本語で伝える」という難しさと必要性を認識できた。

(4) 改善点、今後の課題について

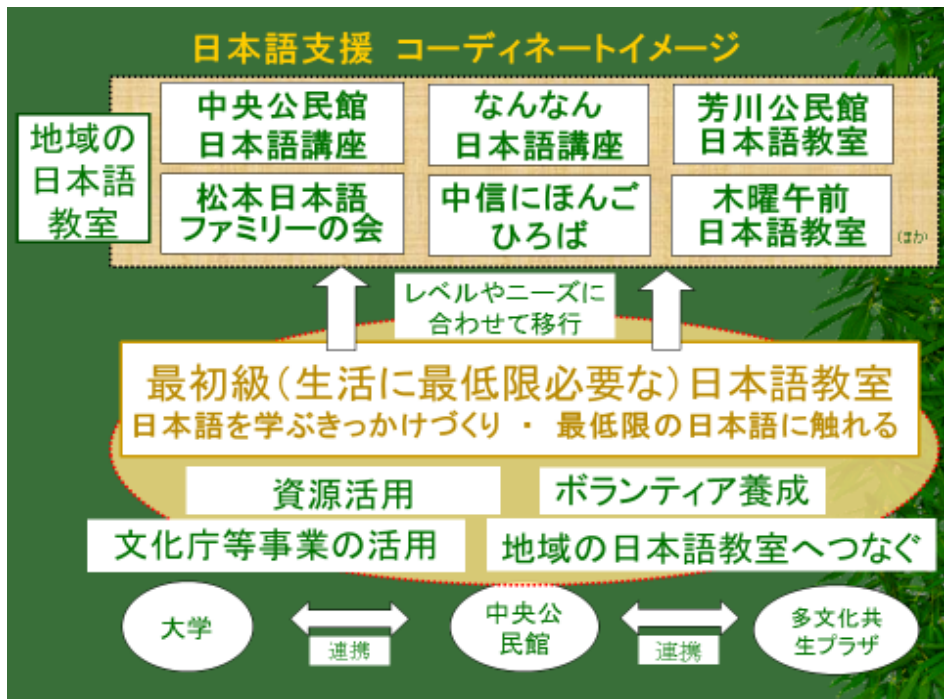
i 現状

松本市として3か年計画で日本語教育事業を予定しており、現在1年目の実施を経て、今後2年目以降の実施を予定している。

- ii 今後の課題
- 1年目は1教室であったものを2年目以降は2教室に拡大する。開催場所・曜日・時間帯など、外国人受講者・日本人ボランティアともに通いやすい教室を選んで通うことができるようにしたい。その際、広報をどのように行い、必要とする人に情報を届けるかが課題である。
- また、今年度作成したカリキュラムや教材、学習ポートフォリオを使用しながら、さらに見直して改訂を進めていきたい。
- コーディネーターの存在を活かした取組の事例として、地域の日本語教室との連携をより進めていく必要がある。

- iii 今後の活動予定
- 1年目で育成したプログラムコーディネーターを活用して、2年目以降は2か所での教室運営を安定させ、外国人の日本語学習機会、ボランティアスタッフの研修機会を拡大していく。
- さらに地域の各日本語教室との連携を進め、各地域で外国人が安心して生活できる体制づくりへつなげていく。

役割と職務				
役割	職務	26年度	27年度	28年度
システムコーディネーター	日本語支援システム全般の運営管理およびPCへの援助・外部資源との調整を行う。			
プログラムコーディネーター	最初級日本語教室の運営を行う。学習者への日本語指導を行う。			
日本語ボランティア	プログラムコーディネーターの指示に従って、学習者への日本語指導補助を行う。			
		SC兼PCが日本語V（27年度のPC候補）を指導、教務の際にOUT	SCがPCを支援しながら教室運営、日本語Vを指導、教務の際にOUT	PCが教室運営、日本語Vが定着本格実施
場所		中央公民館	中央公民館 松南地区公民館	中央公民館 松南地区公民館



(5) その他参考資料

- ・教材
- ・カリキュラム
- ・学習ポートフォリオ
- ・指導力評価シート
- ・スタッフアンケート

まつもと し さいしょ きゅう
松本市 最初級

たくじ
託児
つき

むりょう
無料

日本語教室

にほんご きょうしつ

Childcare Provided ● 有托児所 ● ผากลูกได้ ● creche ● May librenng tagapag-alaga ng mga bata

【Free】Matsumoto City Japanese Class for Absolute Beginners

【免费】松本市 最初級 日语教室

ห้องเรียนภาษาญี่ปุ่น ขั้นต้น อำเภอเมืองมัตสึโมโตะ (ฟรี)

Matsumoto-shi Classe de Japonês para principiantes (gratuito)

Matsumoto-shi Sai shokyu Nihongo kyoushitsu

【LIBRE】Matsumoto-shi Unang dadalo sa Nihongo class
(Beginner)

ぜん かい
【全12回コース】

いつでもOK!
とちゅう
途中からでも
はい
入れます!!

かようび かようび
12/2 火 → 1/20 火
まいしゅう かようび きんようび
毎週火曜日・金曜日 9:30~12:30

Dec. 2, 2014 (Tue) to Jan. 20, 2015 (Tue) [12 Lessons]

Time: Every Tue.&Fri. 9:30am to 12:30pm

2014.12.2 (星期二) ~ 2015.1.20 (星期二) 【共12回】

时间：星期二・星期五 上午9点半~12点半

วันอังคารที่ 2 ธันวาคม 2014 ถึง 20 มกราคม 2015 [ทั้งหมด 12 ครั้ง]

ทุกวันอังคาร และ วันศุกร์ เวลาเช้า 9.30 ถึง 12.30 นาฬิกา

À partir de 2/12/2014(ter) à 20/1/2015(ter) [Total de 12 aulas]

Horário: Todas as terças e sextas. Das 9:30 às 12:30h

Disyembre 2. 2014 hanggang Enero 20. 2015 [12 Lessons]

Oras: Tuwing Martes at Biyernes 9:30am-11:30am

ばしょ まつもと し たぶん かきょうせい
場所 松本市多文化共生プラザ (Mウイング2階)

Location: Matsumoto Multicultural Plaza (M Wing 2nd fl)

地点：松本市多文化共生广场 (Mwing2 层)

ที่เรียน：มัตสึโมโตะชิ ทะบุงกะเคียวเซอิ พลาซ่า (ศูนย์วัฒนธรรมนานาชาติ) เอ็มวิง ชั้น 2

Local: Matsumoto-shi Tabunka Kyousei Plaza (M-wing 2° and)

Lugar: Matsumoto Multicultural Plaza (M-Wing 2nd Flr.)

隨時
募集中!

(日本語ボランティア)
託児ボランティア

詳しくは裏面の連絡先へお問い合わせください!

M ウイング 2F

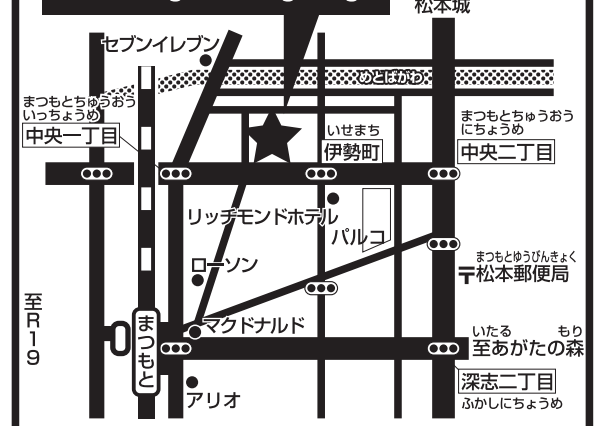
Chuo Kouminkan or M-Wing

中央公民館

ในอาคารเอ็มวิงค์

dentro do M-wing

sa loob ng M-wing bldg



主催／松本市

いま にほんご べんきょう ひと
 今まで日本語を あまり勉強したことがない人、
 ぜひ来てください。
 ちい こ かた
 小さいお子さんのいる方もだいじょうぶ。
 たくじ むりょう
 託児も無料です。

Only had limited education in Japanese language?
 Have young children?
All of you are welcomed!
 Childcare is provided for free of charge.

欢迎没有学过日语的外国朋友踊跃参加。
 孩子小的，也可安心参加，有免费的托儿所。

Limitado ba ang iyong kaalaman an ng salitang Hapon?
 May mga maliliit pang mga anak?
Kayo ay Inaanyayahan!
 May libreng tagapag-alaga ng mga bata

ที่ผ่านๆมา ผู้ที่ไม่ค่อยได้เรียน ภาษาญี่ปุ่น
 ต้องดูแลลูก หรือ ทำงาน ในช่วงที่กำลังเรียน
 สามารถ ฝาก ลูกได้ ฟรี

Venham por favor, pessoas que não tiveram
 oportunidade de estudar o idioma japonês até
 agora, pessoas que tem crianças pequenas,
 disposição de berçário gratuito.

この教室は、それぞれ**12回**のコースです!

●いずれも、最初級のレベルです

12 lessons ทั้งหมด 12 ครั้ง
 共 12 次 Total de 12 aulas

第1回

2014.7月

1

4

8

11

15

18

22

25

29

8月

1

5

8

終了
しました

第2回

9月

16

19

26

30

10月

3

7

10

14

17

21

24

28

終了
しました

第3回

2014.12月

2

5

9

12

16

19

26

2015.1月

6

9

13

16

20

まつもと し さいしょきゅう
 松本市 最初級
 日本語教室
 にほんご きょうしつ

もうしこ さき

申込み先

To register

报名处

ติดต่อสอบถาม

Inscrição

Rehistrasyon

まつもと し たぶん かきょうせい

松本市多文化共生プラザ

Matsumoto Multicultural Plaza

松本市多文化共生广场

มัตสึโมโตะชิ ทะบุนกะเคียวเซะ พลาซ่า (ศูนย์วัฒนธรรมนานาชาติ)

Matsumoto-shi Tabunka Kyousei Plaza

Matsumoto Multicultural Plaza

TEL.0263-39-1106 FAX.0263-37-1153
 E-mail tabunka@city.matsumoto.nagano.jp

もうしこ とき

申込みの時には、名前・国籍・連絡先（電話番号か E-mail アドレス）を教えてください。

When you register, please inform your Name, Nationality, and Contact information.

报名时请告知姓名・国籍・联系方法（电话号码或 E-mail 网址）。

ตอนสมัครเข้าเรียน กรุณาแจ้ง ชื่อ สัญชาติ เบอร์โทรศัพท์ หรือ อีเมล ที่ติดต่อได้

Na inscrição, favor fornecer seus dados como: nome, nacionalidade, telefone ou e-mail para contato.

Isulat ang buong pangalan, nasyonalidad, at numero ng telepono.

日本語ボランティア・託児ボランティア

随時募集中!

上記までお気軽に
お問い合わせください。

松本市最初級日本語教室
ボランティアスタッフ 感想・アンケート

(氏名の記入は自由)

氏 名

これからの日本語教室の改善につなげるため、ボランティアスタッフとしての参加・活動とおした感想をお聞かせください。

- 1、この日本語教室に参加されてよかったこと

- 2、活動をしてみて困ったこと（スケジュール日程、指導方法、その他...）

- 3、今回の活動で得られたこと

- 4、この日本語教室のよいと思う点（来期以降も続けていったらよいと思われること）

- 5、要望や希望がありましたら（こうしたらいいな、こうしてほしいな...という意見など）
お書きください

- 6、個人として、この教室でこれから取組んでみたいこと

- 7、その他、感想・意見（何でもかまいません）

ありがとうございました。

平成 26 年度 文化庁委託事業「松本市最初級日本語教室」カリキュラム

回	テーマ	内容（語彙・文型など）	表記
1	1. あいさつができる 2. 教室用語がわかる 3. 自己紹介ができる／聞ける	1. あいさつ表現 2. 教室用語 3. 名前・国・仕事・住んでいるところ（自己紹介） ～は…です	ひらがな あ行～さ行
2	1. 家族のことを説明できる 2. 電話番号や住所が言える	1. 家族の呼称・年齢（1～99 までの数字） ～は…じゃありません 誰ですか ～の「私の妹です」／～と「夫と私と子どもふたりです」 2. 何歳ですか 3. 電話番号・住所	ひらがな た行～は行
3	買い物ができる	1. これ・それ・あれ・どれ／この・その・あの・どの 2. 何ですか 3. いくらですか（100～100,000 までの数字） 4. ～をください	ひらがな ま行～ん
4	時刻がわかる・言える	1. ～時…分 2. 何時ですか 3. 朝・昼・夜・午前・午後 4. ～時から…時までです	ひらがな総まとめ 1
5	場所が聞ける	1. ここ・そこ・あそこ・どこ 2. 場所の名前（学校・銀行・郵便局・公園など） 3. ～に…がいます／あります。	ひらがな総まとめ 2
6	1. 曜日がわかる・言える 2. ごみの日がわかる	1. 曜日とその漢字 2. ～は…でした／じゃありませんでした 3. 天気表現 4. おととい・昨日・今日・あした・あさって	カタカナ ア行～サ行

7	自分のふだんの生活について話せる	1. 動詞①（起きます・寝ます・働きます・休みます・勉強します・洗濯します・掃除します・買い物します） 2. ～ます・～ません・～ました・～ませんでした	カタカナ タ行～ハ行
8	交通手段や距離について話せる	1. 動詞②（～へ行きます・来ます・帰ります） 2. ～（交通手段）で行きます 3. ～から…までどのぐらいですか。 4. どこも～ません	カタカナ マ行～ン
9	カレンダーの日にちがわかる・言える	1. ～月…日 2. ～日、週間、か月、年 3. 先週・今週・来週／先月・今月・来月／去年・今年・来年 4. ～前に	カタカナ総まとめ
10	好きな物について話せる	1. ～を食べます・飲みます （見ます・聞きます・書きます・読みます・買います・します） 2. 食べ物・飲み物の名前 3. ～が好きです・嫌いです 4. （場所）で食べます	街でよく見る漢字
11	感想や気持ちを表すことができる	1. い形容詞（～です・～くないです） （大きい・小さい・重い・軽い・新しい・古い・高い・安い・低い・熱い・暑い・冷たい・寒い・あたたかい・涼しい・おいしい・まずい・いい・悪い） 2. な形容詞（～です・～じゃないです） （元気・きれい・親切・有名・簡単） 3. ～はどうですか。	語彙 1 学習者のニーズに合わせて、スタッフ各自で準備（服装のことば、学校のことばなど）
12	1. 病院で症状を伝えることができる	1. 体の部位の名前 病気やけがのことば 診療科の種類	語彙 2 （同上）

※取組3「出前講座」については、上記以外で2回実施。ニーズアンケートを取り、受講者の意見を取り入れながら内容を決める。